

世界史B, 日本史B, 地理B, 政治・経済


物理, 化学, 生物 問題

はじめに, これを読みなさい。

- この問題冊子は132ページある。ただし, ページ番号のない白紙はページ数に含まない。各科目のページ数は以下のとおりである。必要な科目を選択して解答すること。

世界史B	1ページから21ページ
日本史B	22ページから37ページ
地理B	38ページから65ページ
政治・経済	66ページから87ページ
物理	88ページから97ページ
化学	98ページから111ページ
生物	112ページから132ページ

- 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか, 受験票と照合して, 確認すること。
- 問題文の中で, 国名, 地域名, 企業名については略称, 通称も用いている。
- 監督者の指示にしたがい, 解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。次に「解答科目マーク欄」にマークし, 「解答科目名記入欄」に解答する科目名を記入すること。マークされていない場合, または複数の科目にマークされている場合は, この時限の科目は採点対象外とする。
- 解答は, すべて解答用紙の所定欄にマークすること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
- 1つの解答欄に, 2つ以上マークしないこと。
- 解答は, 必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入のこと。
- 訂正する場合は, 消しゴムできれいに消し, 消しくずを残さないこと。
- 解答用紙は, 絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
- 解答用紙はすべて回収するので, 持ち帰らず, 必ず提出すること。ただし, この問題冊子は, 必ず持ち帰ること。
- 試験時間は, 60分である。
- マーク記入例

良い例	悪い例
	

日 本 史 B

(解答番号 1～34)

〔 I 〕 次の文章を読み、設問に答えよ。

明治時代に一世一元制が採用されて以降、年号は「明治」「大正」「昭和」「平成」と天皇の代替わりにあわせて改められている。しかし、日本史を振り返ると 200 を越える数多くの年号が存在し、また改元の理由もさまざまであった。^(ア)日本史用語のなかには「承平・天慶の乱」や「安和の変」などのように、そのときの年号を採って事件の名称とするものも数多い。^(イ)

わが国で正式に年号が定められたのは が最初であるが、継続的に使用されるようになるのは 以降のことである。その後、さまざまな理由により改元が行われた。改元の理由には、為政者の代替わりを契機に行われる代替わり改元や、縁起の良い出来事があったことを契機にした祥瑞改元、大きな災害などを契機にした災異改元、干支の辛酉・甲子の年には世の中が改まるという思想にもとづく改元など、^(ウ)があった。いずれにも共通するのは「時間を区切る」ことで、政治や社会を一新しようという意識である。^(エ)

原則的に年号の制定は朝廷の権限であったが、武家の時代になると、武家も年号の制定に関与するようになってくる。南北朝時代には、南朝と北朝それぞれが別の年号を制定しており、たとえば 1391 年の の反乱は北朝の年号(明德 2 年)を採って明德の乱とよばれているが、南朝ではこの年は元中 8 年であった。また、室町幕府に反抗した古河公方 は、京都の朝廷が定める年号を使用せず、本来は 1455 年の享徳 4 年をもって終わる享徳年号を 1478 年の享徳 27 年まで使い続けた。これは年号の制定権が日本の支配権と大きく関わっているという認識に基づき、敵対する勢力の制定した年号を否定することで、その支配を否定しようとした行為といえる。

なお、室町～戦国期になると、朝廷が定めた正式な年号とは別に、私年号とよばれる「福德」や「弥勒」などの独自の年号が地域ごとに使われるようになる。^(カ)

問 1 空欄 1・2 にあてはまる組み合わせとして正しいものを、次の A～D のうちから 1 つ選べ。(解答番号 1)

- A 1—大 化 2—天 平
- B 1—大 宝 2—養 老
- C 1—大 宝 2—天 平
- D 1—大 化 2—大 宝

問 2 空欄 3 にあてはまる人名として正しいものを、次の A～D のうちから 1 つ選べ。(解答番号 2)

- A 大内義弘 B 土岐康行 C 赤松満祐 D 山名氏清

問 3 空欄 4 にあてはまる人名として正しいものを、次の A～D のうちから 1 つ選べ。(解答番号 3)

- A 足利直義 B 足利成氏 C 足利政知 D 足利持氏

問 4 下線部(ア)に関連して、平安時代の年号の時系列の順番として正しいものを次の A～D のうちから 1 つ選べ。(解答番号 4)

- A 延 暦 → 弘 仁 → 承 和 → 延 喜
- B 承 和 → 延 暦 → 延 喜 → 弘 仁
- C 延 喜 → 承 和 → 延 暦 → 弘 仁
- D 弘 仁 → 延 喜 → 承 和 → 延 暦

問 5 下線部(イ)に関する文章として正しいものを、次の A～D のうちから 1 つ選べ。(解答番号 5)

- A 武蔵国を本拠地とした平将門は、939 年に「新皇」と称した。
- B 薩摩国を本拠地とした藤原純友は、939 年に大宰府を焼き討ちした。
- C 平将門の反乱は、平貞盛・藤原秀郷によって鎮圧された。
- D 藤原純友の反乱は、小野好古・源満仲によって鎮圧された。

問 6 下線部(ウ)に関する文章として誤っているものを、次のA～Dのうちから1つ選べ。(解答番号6)

- A 708年に陸奥国から朝廷に銅が献上されたことから「和同」と改元された。
- B 724年に白亀が朝廷に献上されたことから「神亀」と改元された。
- C 749年に陸奥国から朝廷に黄金が献上されたことから「天平感宝」と改元された。
- D 「神護景雲」や「天平感宝」などの四字年号は奈良時代のみに見られるものである。

問 7 下線部(エ)に関する文章として誤っているものを、次のA～Dのうちから1つ選べ。(解答番号7)

- A 1182年、「養和」から「寿永」に改元された。
- B 1232年、「寛喜」から「貞永」に改元された。
- C 1294年、「永仁」から「弘安」に改元された。
- D 1469年、「応仁」から「文明」に改元された。

問 8 下線部(オ)に関する文章として誤っているものを、次のA～Dのうちから1つ選べ。(解答番号8)

- A 干支は、古代以来、暦のうえで年や日を表すのに使われた。
- B 干支は、甲・乙・丙…の「干」と、子・丑・寅…の「支」の組み合わせで決まる。
- C 干支は50年を1周期とし、ふたたび最初の干支にもどる。
- D 乙巳の変、壬申の乱、庚午年籍などの歴史用語は、みな干支に由来する。

問 9 下線部(カ)が出現した背景として誤っているものを、次のA～Dのうちから1つ選べ。(解答番号9)

- A 変革への期待
- B 大陸との交流の拡大
- C 社会の混乱
- D 朝廷権威の弱体化

日本史B 問題は次ページに続いています。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、設問に答えよ。

江戸時代になると、全国の流通網や金融、商工業が大きく発展した。陸上交通では、江戸・大坂・京都を中心に、各地の城下町を結ぶ道が整備された。なかでも五街道は、幕府の直轄のもと、道中奉行により管理された。主要な街道には、^(ア)一里塚や関所がもうけられ、宿駅には宿泊施設のほか、公用の書状を送る継飛脚^(イ)をあつかう問屋場などがおかれた。

物資の大量輸送に有利な水上交通も展開した。海上では、17世紀前半 が大坂から江戸へ多様な商品を運送したが、18世紀前半になると酒荷専用の が運航を始め、両者は競合するようになる。18世紀末ごろには、地方の港で荷を買い、別の地域で売る買い積み船の が登場し、日本海を行きかった。

貨幣の安定供給は、全国を統治する幕府の重要な役割であった。金座では小判など、銀座では である丁銀などが鑄造された。錢座では寛永通宝を鑄造し、全国に広く供給した。この金・銀・銭を三貨とよぶが、西日本ではおもに ，東日本ではおもに が取引の中心とされた。三貨は換算率^(ウ)が時々の相場によって変動したため、都市ではその交換を業務とする両替商が成立した。

商工業も展開した。幕府・諸藩の年貢米や特産物は、大坂の蔵屋敷に集められ、^(エ)蔵元・掛屋によって販売された。各産地から送られる民間の商人があつかう もその量を増加させていった。こういった経済の展開の背景には各地での諸産業の成長がある。絹織物は ，醸造業は酒造の ，漆器業では などが有名である。また、村々では商品生産が盛んになったが、都市の問屋が豪農と連携し、産地の人びとに資金や原料を貸し与え、製品を受け取る問屋制家内工業を組織する動きも現れた。

問 1 空欄 1・2・3 にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、次の

A～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 10)

- A 1 菱垣廻船 — 2 樽廻船 — 3 北前船
B 1 樽廻船 — 2 北前船 — 3 菱垣廻船
C 1 菱垣廻船 — 2 北前船 — 3 樽廻船
D 1 樽廻船 — 2 菱垣廻船 — 3 北前船

問 2 空欄 4・5・6 にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、次の

A～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 11)

- A 4 秤量貨幣 — 5 金貨 — 6 銀貨
B 4 計数貨幣 — 5 金貨 — 6 銀貨
C 4 秤量貨幣 — 5 銀貨 — 6 金貨
D 4 計数貨幣 — 5 銀貨 — 6 金貨

問 3 空欄 7 にあてはまる語句として正しいものを、次の A～Dのうちから一つ

選べ。(解答番号 12)

- A 納屋物 B 蔵物 C 俵物 D 得物

問 4 空欄 8・9・10 にあてはまる語句の組み合わせとして誤っているもの

を、次の A～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 13)

- A 8 西陣 — 9 灘 — 10 輪島
B 8 桐生 — 9 伊丹 — 10 飛騨
C 8 足利 — 9 伏見 — 10 会津
D 8 伊勢崎 — 9 池田 — 10 銚子

問 5 下線部(ア)に関する説明として誤っているものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 14)

- A 東海道は草津で中山道と合流する。
- B 日光道中の宿場として千住宿がある。
- C 中山道の宿場として内藤新宿がある。
- D 五街道は江戸日本橋を起点とする。

問 6 下線部(イ)に関する説明として誤っているものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 15)

- A 民間営業の飛脚として町飛脚がある。
- B 宿駅では、伝馬役という御用通行のために使用される人馬が徴発された。
- C 17世紀中頃から中山道の各宿駅では25人・25疋の人馬を常備した。
- D 宿駅には、大名・公家・幕府役人の宿泊する本陣・脇本陣が整備された。

問 7 下線部(ウ)に関する説明として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 16)

- A 錢貨の単位は「分・文」である。
- B 本両替は、幕府や大名に対し為替・貸付業務を行なった。
- C 江戸の十人両替として、鴻池・三谷・鹿島屋などがある。
- D 両替商は秤製造・販売をあつかった。

問 8 下線部(エ)に関する説明として誤っているものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 17)

- A 諸藩の蔵屋敷を通じて売却された米を蔵米という。
- B 札差は旗本・御家人の代理として蔵米の受取・販売を行なった。
- C 掛屋は蔵元を兼ねることもあり、大名貸も行なった。
- D 大坂中之島の札差たちの豪華な生活や流行・風俗を蔵前風という。

日本史B 問題は次ページに続いています。

〔Ⅲ〕 幕末から明治期の日本の状況を記した次の文章を読み、設問に答えよ。

いまから約 160 年前の 1854 年、日本とロシアとの間で和親条約が結ばれ、国境も定められたが、1858 年にロシアを含めた五カ国との間で通商条約が結ばれると、日本からの輸出は を筆頭に急速に増大し、国内経済に大きな影響を与えた。また、開港を契機に朝廷・大名と幕府の関係は複雑化していく。

1865 年、孝明天皇は列強の圧力を受け、通商条約を勅許した。こうした状況に危機感を抱いた薩摩藩は、幕府軍と長州藩の戦争を経たのち、1867 年に王政復古を主導した。一方、 藩は公議政体論にもとづいて将軍徳川慶喜に大政奉還をすすめた。

公論にもとづく政治は明治政府にも求められたが、1875 年に参議大久保利通は、彼と対立して政府を離れていた および板垣退助と大阪で会見した。この結果、彼らは政府に復帰し、漸次立憲政体樹立の方針が詔勅によって示された。新たに設置された は 1880 年に『日本国憲按』を完成させるが却下され、より国情にあわせた案が参議たちに求められた。しかし、国会開設運動が各地で展開されるなかで参議の間に対立が生じ、明治 14 年の政変に発展していく。政変後、政府は各種制度の整備をすすめ、1885 年に太政官制が内閣制に改められた。1890 年には第一回衆議院議員選挙が実施され、帝国議会が開かれた。

問 1 空欄 1 にあてはまる、幕末期における日本からの最大の輸出品として正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 18)

- A 綿糸 B 銅 C 磁器 D 生糸

問 2 空欄 2 にあてはまる、将軍に大政奉還を進言した藩として正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 19)

- A 佐賀藩 B 水戸藩 C 会津藩 D 土佐藩

問 3 空欄 3 にあてはまる人物として正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 20)

- A 江藤新平 B 木戸孝允 C 西郷隆盛 D 副島種臣

問 4 空欄 4 にあてはまる政府機関として正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 21)

- A 枢密院 B 集議院 C 元老院 D 制度取調局

問 5 下線部(ア)に関連し、日露和親条約に関する説明として正しいものの組み合わせを、下の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 22)

X ロシアが派遣した全権はレザノフだった。

Y この条約の結果、長崎は開港場となった。

- A X—正 Y—正 B X—正 Y—誤
C X—誤 Y—正 D X—誤 Y—誤

問 6 下線部(イ)に関連し、1858 年に通商条約を結んだ国として誤っているものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 23)

- A フランス B ドイツ C イギリス D オランダ

問 7 下線部(ウ)に関連し、幕末期の朝廷・大名と幕府の関係についての説明として誤っているものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 24)

A 薩摩藩と会津藩が結び、岩倉具視ら急進派の公家を追放した。

B 幕府は將軍上洛後、朝廷の意向に応じて攘夷決行の期日を示した。

C 桜田門外の変ののち、皇女和宮と將軍家茂の婚姻が実現した。

D 通商条約調印後、大老井伊直弼は調印に反発する公家を抑制した。

問 8 下線部(エ)に関連して、明治14年の政変に関する説明として正しいもの

を、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 25)

- A 政変後、政府は開拓使官有物の払下げを中止した。
- B 政変により政府を追われた大隈重信は自由党を創設した。
- C 政変の翌年、伊藤博文はイギリスで憲法学を学んだ。
- D 政府への批判を弾圧するため、保安条例が制定された。

日本史B 問題は次ページに続いています。

〔Ⅳ〕 次の史料(A)～(D)は、いずれも近現代において日本政府が締結した講和条約の一節である。これらを読み、設問に答えよ。史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところがある。

(A) 日本国は、 の独立を承認して、濟州島、巨文島及び鬱陵島を含む に対するすべての権利、権原及び請求権を放棄する。

日本国は、^(ア)千島列島並びに 国が一九〇五年九月五日のポーツマス条約の結果として主権を獲得した樺太の一部及びこれに近接する諸島に対するすべての権利、権原及び請求権を放棄する。

(B) 国は、 国の完全無欠なる独立自主の国たることを確認す。よって右独立自主を損害すべき 国より 国に対する貢献典礼等は、将来全くこれを廃止すべし。

国は、軍費賠償金として庫平銀二億兩を日本国に支払ふべきことを約す。

(C) 国は、一八九八年三月六日 国と 国との間に締結したる条約及び山東省に関する他の一切の協定に依り取得したる権利、権原及び特権の全部こと^(イ)に膠州湾地域、鉄道、鉱山及び海底電線に関するものを日本国の為^(イ)に放棄す。

(D) 帝国政府は、 国政府の承諾をもって、旅順口、大連並^(ウ)びにその附近の領土及び領水の租借権及び該租借権に関連し、またはその一部を組成する一切の権利、特権及び譲与を日本帝国政府に移転譲渡す。

帝国政府は、また前記租借権がその効力を及ぼす地域に於ける一切の公共营造物及び財産を日本帝国政府に移転譲渡す。

(史料(A)～(D)の出典：外務省編『日本外交年表並主要文書』および『日本外交主要文書・年表』)

問 1 空欄 1・2 にあてはまる国名の組み合わせとして正しいものを、次の A～

D のうちから一つ選べ。(解答番号 26)

- A 1—清 2—日 本
- B 1—朝 鮮 2—ロシア
- C 1—清 2—ロシア
- D 1—朝 鮮 2—日 本

問 2 空欄 3・4 にあてはまる国名の組み合わせとして正しいものを、次の A～

D のうちから一つ選べ。(解答番号 27)

- A 3—清 4—朝 鮮
- B 3—ロシア 4—台 湾
- C 3—清 4—台 湾
- D 3—ロシア 4—朝 鮮

問 3 空欄 5・6 にあてはまる国名の組み合わせとして正しいものを、次の A～

D のうちから一つ選べ。(解答番号 28)

- A 5—ドイツ 6—日 本
- B 5—ドイツ 6—支 那(清)
- C 5—ロシア 6—日 本
- D 5—ロシア 6—支 那(清)

問 4 空欄 7・8 にあてはまる国名の組み合わせとして正しいものを、次の A～

D のうちから一つ選べ。(解答番号 29)

- A 7—ドイツ 8—日 本
- B 7—ドイツ 8—清
- C 7—ロシア 8—日 本
- D 7—ロシア 8—清

問 5 史料(A)~(D)を古いものから順に並べたものとして正しいものを、次のA~Dのうちから一つ選べ。(解答番号 30)

- A (B)—(D)—(A)—(C)
- B (B)—(D)—(C)—(A)
- C (D)—(B)—(A)—(C)
- D (D)—(B)—(C)—(A)

問 6 下線部(ア)に関して述べた文として誤っているものを、次のA~Dのうちから一つ選べ。(解答番号 31)

- A 日露和親条約では、エトロフ島とウルップ島の間が国境と定められた。
- B 樺太千島交換条約では、全島が日本領と定められた。
- C 日本海軍のハワイ空襲部隊は、いったんエトロフ島に集結してから出撃した。
- D 日本がポツダム宣言を受諾する前にソ連は全島を占領した。

問 7 下線部(イ)に関して述べた文として正しいものを、次のA~Dのうちから一つ選べ。(解答番号 32)

- A (イ)の青島は、旅順とともにロシア艦隊の根拠地として建設された。
- B ワシントン会議で(イ)の青島は日本の租借地として認められた。
- C 田中義一内閣は、(イ)の居留民保護を名目に出兵した。
- D (イ)は華北分離工作の対象となった「北支五省」には含まれなかった。

問 8 下線部(ウ)に関して述べた文として誤っているものを、次のA~Dのうちから一つ選べ。(解答番号 33)

- A この租借権は、対華二十一カ条要求によって99年延長された。
- B この租借地は東三省とよばれた。
- C この租借地の統治のために関東都督府が設置された。
- D 関東都督府の機能は、のちに関東庁と関東軍に引き継がれた。

問 9 史料(A)～(D)のうち最も新しい条約に関する文として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 34)

- A この条約においては、竹島(独島)の帰属は条文上に明記された。
- B この条約においては、尖閣諸島の帰属は条文上に明記された。
- C この条約においては、沖縄・小笠原諸島はアメリカの施政権下に置かれることが条文上に明記された。
- D この条約においては、千島列島の地理的定義は条文上に明記された。